

平成29年度
第2回 区政モニターアンケート
調査報告書

《 緑の実態調査について 》



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の時期	3
3. 今回の区政モニター数、回答者数	3
4. 回答者の構成	4
5. 集計方法	4
第2章 調査結果の分析及び所管意見	5
設問体系と回答の概要	7
1. 緑への興味・関心	10
2. 緑への興味・関心がない理由	11
3. 緑への興味・関心がない理由	12
4. 緑を増やしていくべき場所	14
5. 緑を育て守っていくために最も必要だと感じること.....	16
6. 緑にかかわる活動への参加・実施経験	17
7. 今後、緑に関する事への参加・協力意向	19
8. 今後、緑に関する事への参加・協力したいこと.....	19
9. 緑に関する活動への参加促進のために必要な援助.....	21
10. 居住地域の身近にある緑の中で、好きな緑の場所（自由記述）.....	23
■アンケートの有効度	27
■使用した調査票	28

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

足立区では、平成30年度から「足立区緑の基本計画」の改定に着手します。これまでの施策や事業の成果を確認するため、平成29年度に、空中写真からの緑の量や、保存樹木・保存樹林所有者の協力による、樹木の大きさや太さの調査などの、緑の実態調査を実施しました。今回は平成21年度に続き6回目の調査になります。

今回、緑の基本計画を改定するに当たり、実現可能な計画とするため、区民の緑に関する意識調査を春の花まつり等のイベントや区政モニターアンケートとして実施しました。

2. 調査の時期

平成29年12月15日（金）～12月28日（木）

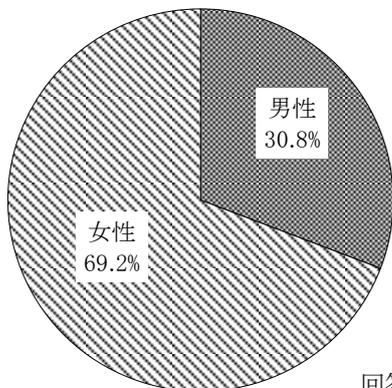
3. 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数	190人
回答者数	185人（回答率97.4%）
〔内訳〕郵便回答	112人
インターネット回答	73人

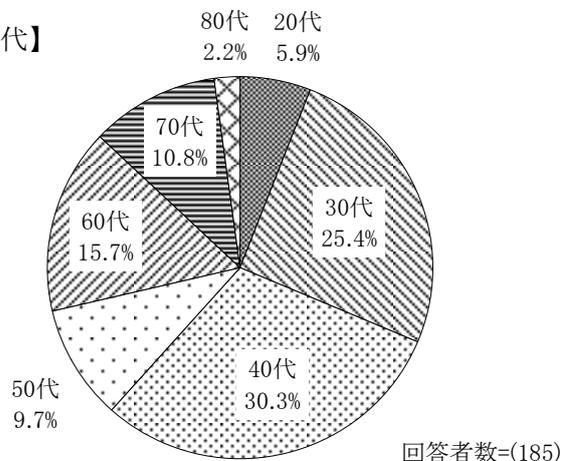
4. 回答者の構成

(1) 性別、年代別割合（全体）

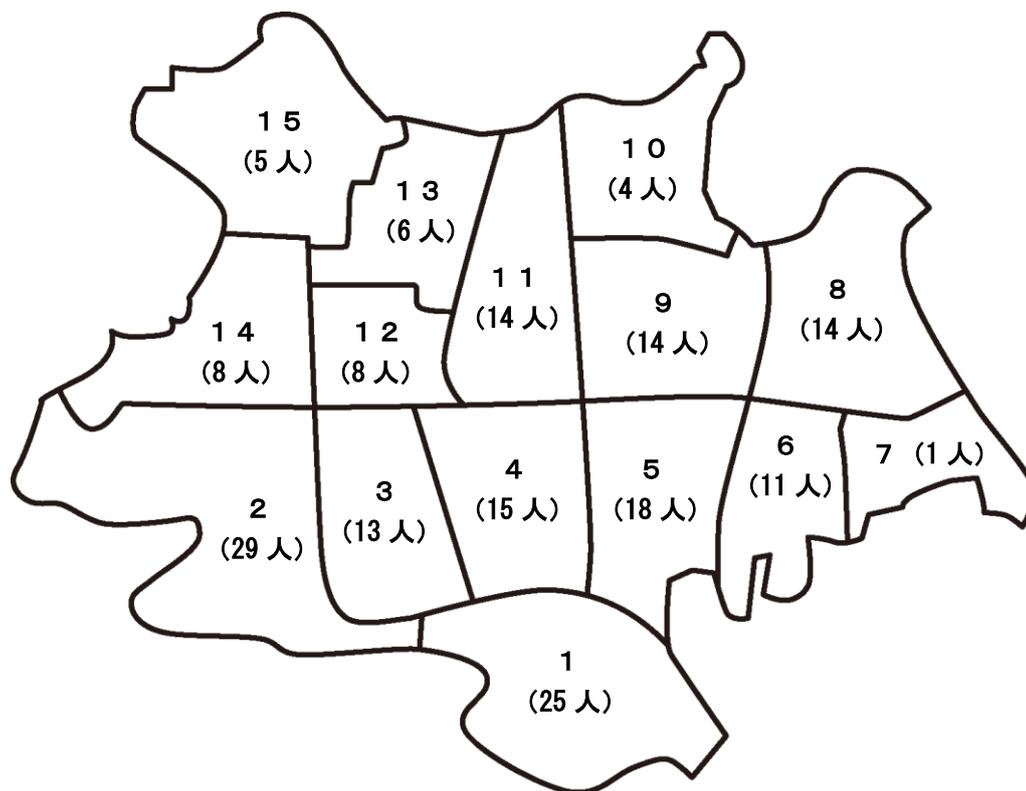
【性別】



【年代】



(2) 地域別人数（上段：地域番号、下段：人数）



5. 集計方法

回答比率（%）は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。

また、記述回答は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しています。

第2章 調査結果の分析及び所管意見

設問体系と回答の概要

1. **緑への興味・関心** . . . P8
 - ・ 「ある」 93.0%
2. **緑への興味・関心がない理由** . . . P9
 - ・ 「緑を育てることや、楽しむ余裕がない」 38.5%
 - ・ 「落ち葉や害虫などが不快である」 30.8%
 - ・ 「緑を育てることなどは、興味や関心がある人に任せたい」 30.8%
3. **区内の緑の現状** . . . P10
 - ・ 「減っている」 〈農地〉 33.5% 〈住宅街の緑〉 30.8%
 - ・ 「増えている」 〈公園の緑〉 11.9% 〈住宅街の緑〉 11.4%
4. **緑を増やしていくべき場所** . . . P12
 - ・ 「公園の緑」 40.5%
 - ・ 「道路の緑」 36.8%
 - ・ 「住宅街の緑」 35.1%
 - ・ 「公共施設の緑」 34.6%
5. **緑を育て守っていくために最も必要だと感じること** . . . P14
 - ・ 「管理していくための援助（生け垣や庭木の剪定、落ち葉の処理など）」 42.7%
 - ・ 「周囲の理解や協力（沿道、隣近所の方々の理解や協力）」 34.1%
6. **緑にかかわる活動への参加・実施経験** . . . P15
 - ・ 「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」 44.9%
7. **今後、緑に関することへの参加・協力意向** . . . P17
 - ・ 「ある」 83.8%
8. **今後、緑に関することへの参加・協力したいこと** . . . P17
 - ・ 「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」 43.9%
 - ・ 「公園を活用した地域活動への参加」 25.8%
9. **緑に関する活動への参加促進のために必要な援助** . . . P19
 - ・ 「必要経費に対する助成」 28.1%
10. **居住地域の身近にある緑の中で、好きな緑の場所** . . . P21

【所管意見 まとめ】

1 今回の調査結果

(1) 約9割の方が「緑に関心がある」と回答した。

30代から70代の方は9割以上、20代・80代の方は7割台半ば、緑に関心・興味があると回答したが、20代の約1割の方は、緑に関心・興味がないと回答した。

(2) 「足立区内の緑の現状をどのように感じていますか」の設問では、「農地、住宅街の緑、道路の緑」が減っていると感じている方が多かった。公共施設の緑は、減っていると感じている人に比べて、増えていると感じている方が多かった。公園の緑については、増えていると感じている方と減っていると感じている方がほぼ同率であった。今後、どのようにして生産緑地を含む農地や住宅街の緑を保全・拡充していくかが、課題である。

(3) 「緑を増やすために、どのような場所に樹木を植えていけばよいか？」の設問では、上位4施設がそれぞれ3割を越えており、公園・道路・住宅街・公共施設の順番であった。

公園・道路を含む公共施設の面積は、足立区全体の約25%であり、公共施設の緑をこれ以上に増やすことは厳しい状況にある。残り約75%が民有地であり、民有地の所有者の理解と協力を得て、まちなか緑化などが必要となってくる。

(4) 「緑を育て守っていくために、最も必要だと感じることは？」の設問では、約4割の方が、樹木等を「管理していくための援助」が必要と考え、3割台半ばの方が、「周囲の理解と協力」が必要だと感じている。

落ち葉等の苦情が多く、周辺住民の理解が必要であり、樹木剪定費や生垣の刈り込み費用などの維持管理費が課題である。

(5) 約8割の方が、「緑に関する活動への参加・協力したい」と回答した。

今後、緑に関することで参加、協力したい活動は、約4割の方が「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」と回答した。また、2割台半ばの方が「公園を活用した地域活動への参加」、「保育園や学校、地域単位で行う花植えや花壇などの管理や清掃」への参加、協力への意向がある。

2 今後の方針

(1) 緑の基本計画改定への活用

今回の調査結果のうち、「区内の緑の現状」や「緑を増やしていくべき場所」などの設問から、農地の減少や住宅街の緑の減少について認識をしているとともに、増やすべき場所については、公園や道路につづき、住宅街の緑となっている。

どのように、農地の減少を防ぎ、住宅街の緑を拡充していくか、緑の基本計画改定作業の中で、検討していく。

(2) 区民との協働・協創による緑の育成

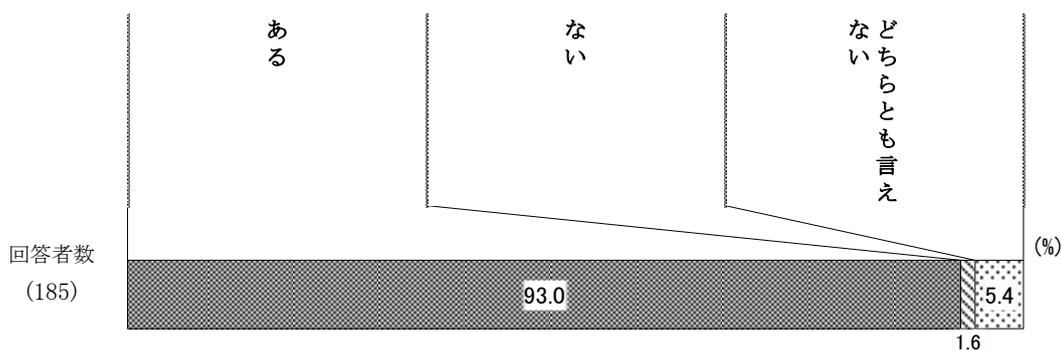
「緑に関する活動への意識」や「緑を保全していくために最も必要な事」などを十分に踏まえ、「緑の基本計画改定審議会」の中で、区民をはじめ多様な団体等から意見や提案をいただき、協働・協創による緑地（民有地を含む）の維持管理や個人による活動への支援メニューなどの方策を検討する。

1. 緑への興味・関心

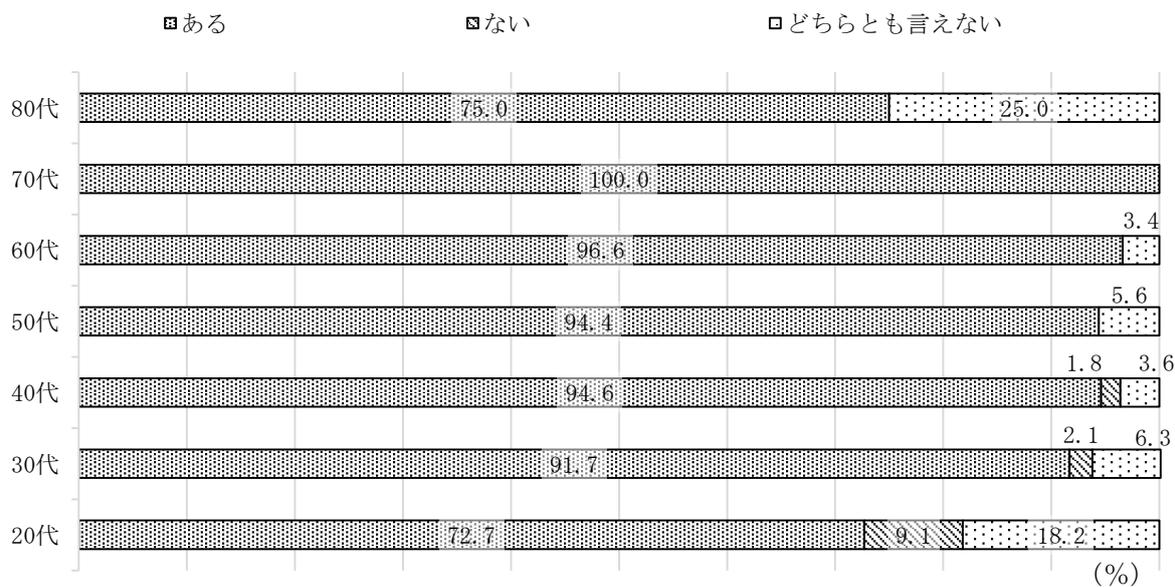
問1 足立区内の屋敷林や農地などのまとまった緑は年々減少しています。今後も都市部の緑の保全是重要な課題と捉えておりますが、緑に興味や関心がありますか。

(○は1つだけ)

※緑を眺めること、緑のある場所に行くなど、どんな視点からでも構いません。



年代別／緑への興味・関心

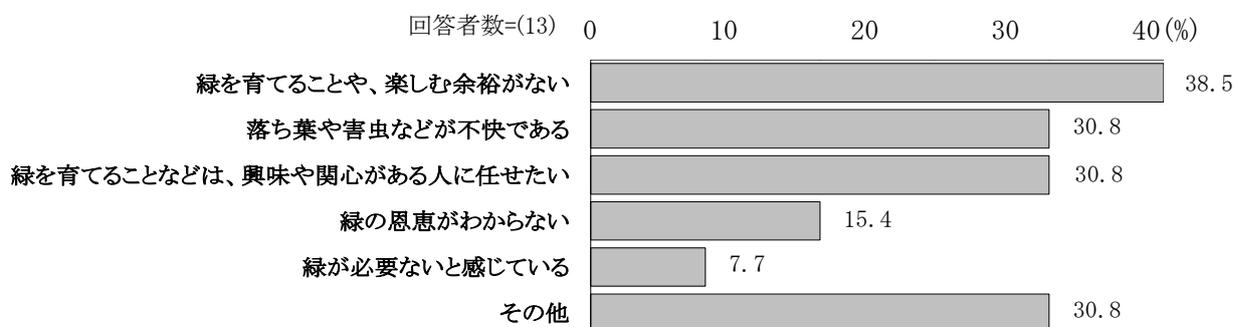


「ある」(93.0%)が9割台前半となっている。

2. 緑への興味・関心がない理由

問1で「2. ない」、または「3. どちらとも言えない」とお答えの方に

問1-1 その理由をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)



「緑を育てることや、楽しむ余裕がない」(38.5%)、「落ち葉や害虫などが不快である」(30.8%)、「緑を育てることなどは、興味や関心がある人に任せたい」(30.8%)の回答が、やや多くなっている。

【現状】

- 区民の緑に関する興味・関心が高い。
- 年代別に見ると、20代の約3割が緑に興味・関心が「ない」「どちらとも言えない」という回答であった。

【課題】

- 緑への興味・関心が「ある」方々を今後も維持していかなければならない。
- 緑への興味・関心が「ない」理由として「落ち葉や害虫などが不快である」と答えた方が30.8%いた。落ち葉や害虫については、区へ寄せられる意見も多く、今後も区民の皆様の理解・協力を得られるよう対策を検討していく必要がある。

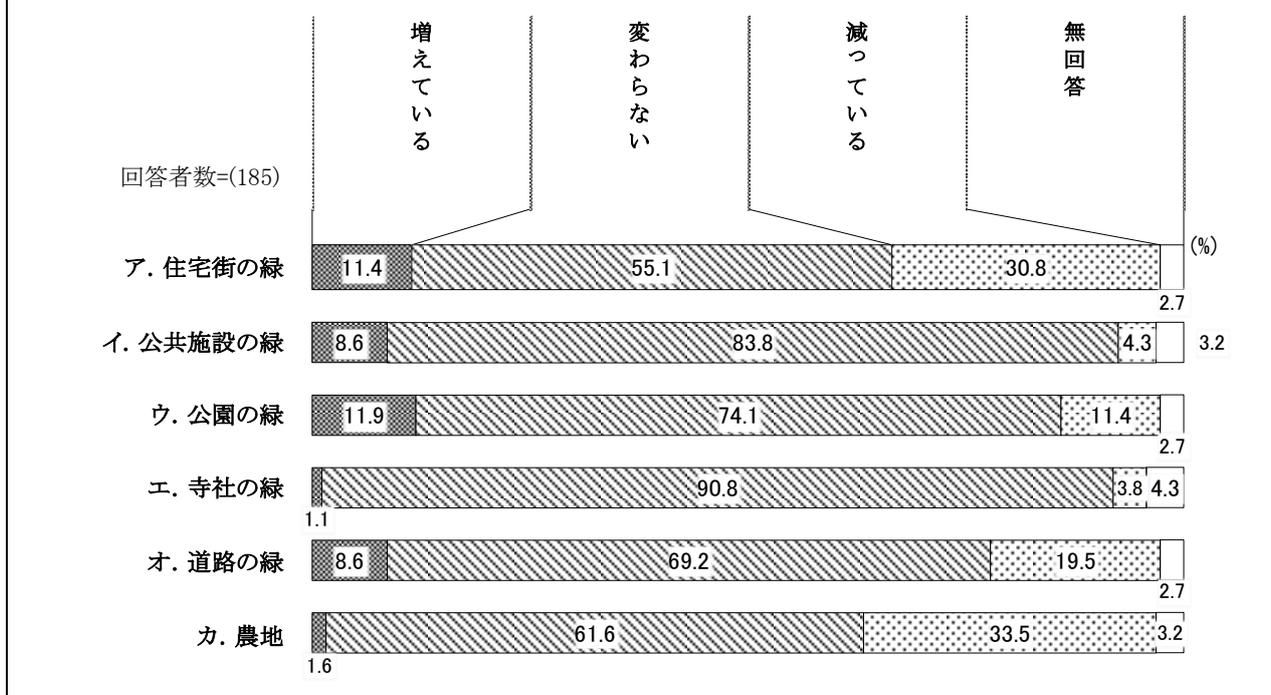
【緑の基本計画での方針】

- 区民へ緑の効用をアピール
都市部の緑は意識して保全・育成しないと失われていく。落ち葉や害虫などのデメリット面だけでなく、緑の効用（ヒートアイランド現象の緩和）を発信していく。

3. 区内の緑の現状

問2 近年の足立区内の緑の現状をどのように感じていますか。また、「増えている」「減っている」を選んだ場合は、その理由や具体的な名称、場所をお答えください。

(アからカまで〇はそれぞれ1つずつ)



6項目を比較してみると、「増えている」との回答は〈公園の緑〉(11.9%)、〈住宅街の緑〉(11.4%)が1割台で、「減っている」との回答は〈農地〉(33.5%)、〈住宅街の緑〉(30.8%)が3割台で高くなっている。

【現状】

- 項目別の回答結果では、
 - ・ア〈住宅街の緑〉、ウ〈公園の緑〉は、増えていると感じている割合が高い。
 - ・ア〈住宅街の緑〉、オ〈道路の緑〉、カ〈農地〉については、減っていると感じている割合が高い。

【課題】

- 公共の緑のひとつであるウ〈公園の緑〉は実際増えているものの「減っている」と感じている方が11.4%と多い。
- 住宅街や寺社・農地の民有地の緑では、エ〈寺社の緑〉が「変わらない」と感じている方が9割を超えている一方、カ〈農地〉は減っていると感じている方が3割以上で、農地が減少している実態と合致した結果となり、農地の保全が喫緊の課題である。

【緑の基本計画での方針】

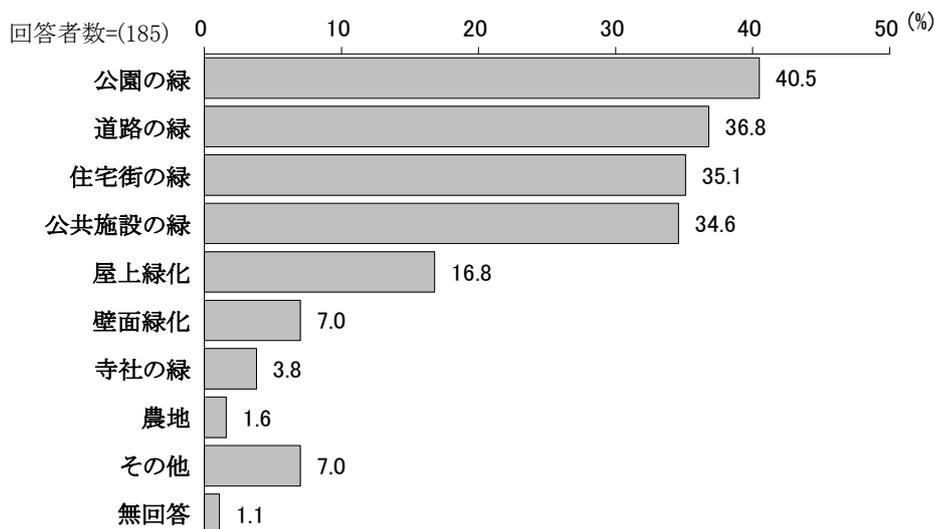
- 公共の緑化推進（道路の街路樹）
道路の緑を含め、減っていると感じている割合が高い緑については、関係部署と連携して、体感できる緑（都市計画道路、接道部など）について、更なる緑化の推進を検討していく。

- 農地の保全
農地が宅地に変わり、住宅や商業施設が建設されると、利便性は向上することが多いが、貴重な緑は失われ普段目にする風景も様変わりしてしまう。区民の皆様の意見を取り入れながら、今後の足立区の農地の保全について方向性を示したい。

- 「足立区の緑」
足立区の地域性や緑のあり方、区民の緑に関する考え方などを把握し、「足立区の緑」とは何かを定め、緑の付加価値を明確にして緑化を推進していく。

4. 緑を増やしていくべき場所

問3 これからも足立区の緑をできるだけ増やしていきたいと考えておりますが、まだまだ足りません。今後、足立区の緑を増やしていくために、どのような場所に樹木を植え、育て、守っていけばよいと思いますか（〇は2つまで）。
また、具体的な名称や場所もお答えください。



「公園の緑」(40.5%)が約4割で最も高く、次いで「道路の緑」(36.8%)、「住宅街の緑」(35.1%)、「公共施設の緑」(34.6%)が3割台半ばとなっている。

【現状】

- 公園や道路、学校などの公共施設など、公共の場の緑を増やしていくべき場所と考えている方が多い。
- 「屋上緑化」と回答した方も16.8%と比較的割合が高い。
- 「農地」と回答した方は1.6%と割合が低い。

【課題】

- 屋上緑化をもっと増やすべきとの意見が多い反面、屋上緑化する面積を地上に振替えるなど屋上緑化の申請件数は伸び悩んでいる。
- 農地＝緑という認識は行政の認識になっている。
H29年6月の都市緑地法の改正において「緑地」の定義に「農地」が含まれ、行政は「農地」を「緑地」と捉えるようになったが、区民の認識として「農地」＝「緑を増やしていくべき場所」と考えている人は少なく、官民で認識の違いがある。

【緑の基本計画での方針】

- 屋上緑化

屋上緑化は、平成21年度に実施した緑の実態調査から約4.7ha増加している。申請件数が停滞している課題を抽出するとともに、制度のあり方について再検討する。

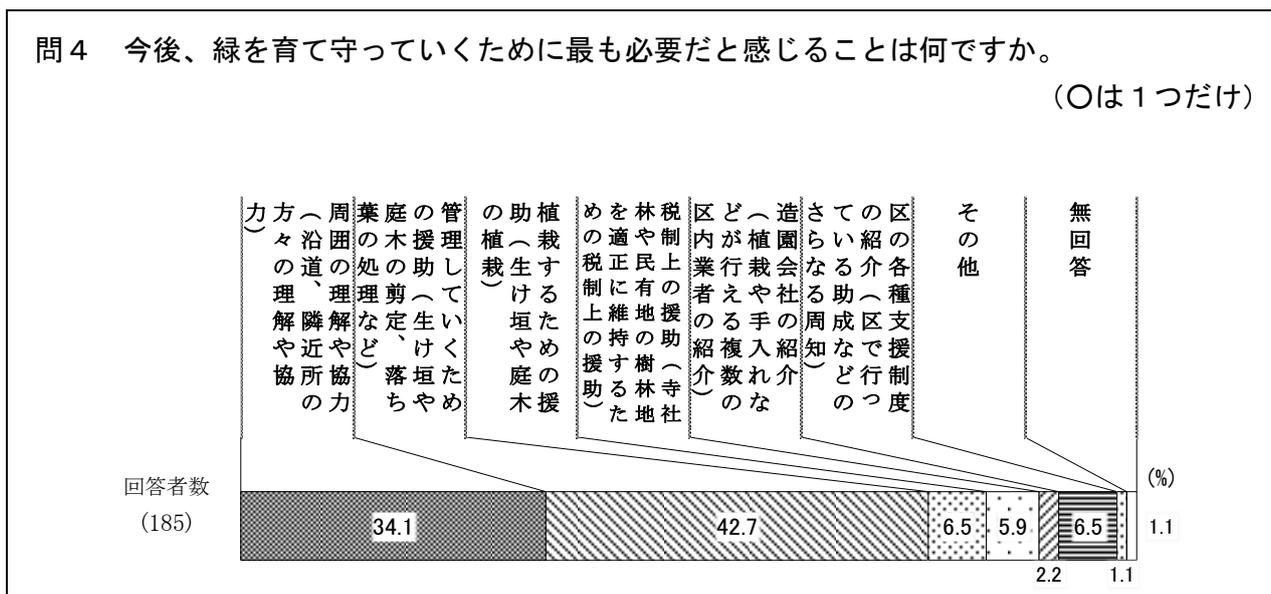
- 緑としての農地の位置づけを明確化

- 緑のターゲット

H29年度緑の実態調査によると、区の面積の約75%は私有地であり、私有地にはまだまだ緑化の可能性がある。私有地を次期緑の基本計画のメインターゲットのひとつに据えていきたい。

一方で、前述しているが、問2で減っていると多くの方が感じている「道路の緑」を含め、公共の緑化がさらに期待されており、道路や公園など、改修工事等の際に工夫を行い、公共の緑化を推進していく。

5. 緑を育て守っていくために最も必要だと感じること



「管理していくための援助（生け垣や庭木の剪定、落ち葉の処理など）」（42.7%）が4割台前半で最も高い。

【現状】

- 新しく植栽する援助よりも今ある緑を維持管理するための援助が必要だと感じている人が多い。

【課題】

- 保存樹木・樹林所有者から剪定費補助額が足りない、落ち葉掃きへの支援がほしいといった要望を受け、少しずつ支援内容を拡大しているが、予算確保及び公的立場として民有財産にどこまで支援できるかということが課題である。
※ 現行の制度では、一般の方向けの剪定講習会や、保存樹木・樹林所有者への剪定費補助・落ち葉処理などがある。

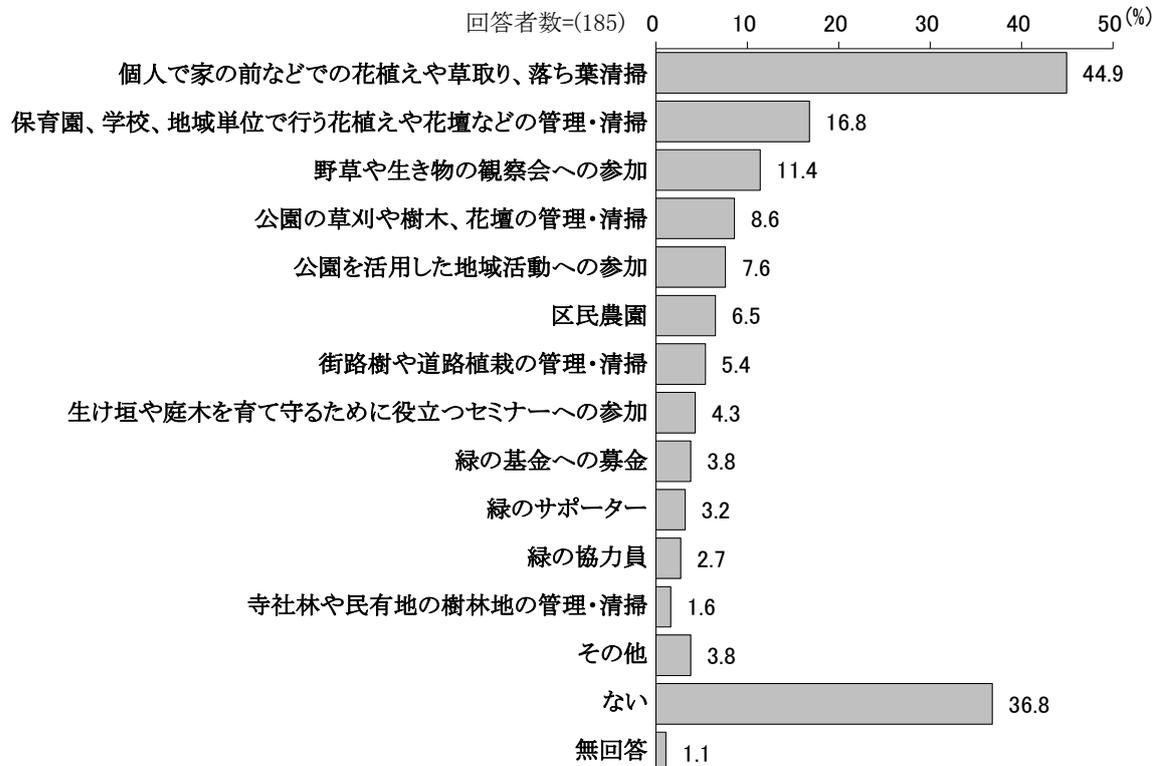
【緑の基本計画での方針】

- 区全域に対しての緑の方針
樹木や草地などは、落ち葉や日陰・害虫などのマイナスなイメージが先行しがちである。落ち葉などから近隣トラブルが発生した場合、周囲の理解が得られず、その結果大切な樹木を伐採するケースがある。そのようなことを少しでも未然に防ぐため、足立区として緑をどうしていきたいかを明確にし、それを区全体の方針として周知していきたい。

6. 緑にかかわる活動への参加・実施経験

問5 これまでに緑にかかわる活動に参加、もしくは行ったことがありますか。

(○はあてはまるものすべて)



「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」(44.9%)が4割台半ばで最も高く、次いで「保育園、学校、地域単位で行う花植えや花壇などの管理・清掃」(16.8%)、「野草や生き物の観察会への参加」(11.4%)が1割台となっている。

【現状】

- 「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」が最も多く、身近なことから取り組んでいる方が多い。
- 「ない」と答えた方が36.8%と2番目に多い。

【課題】

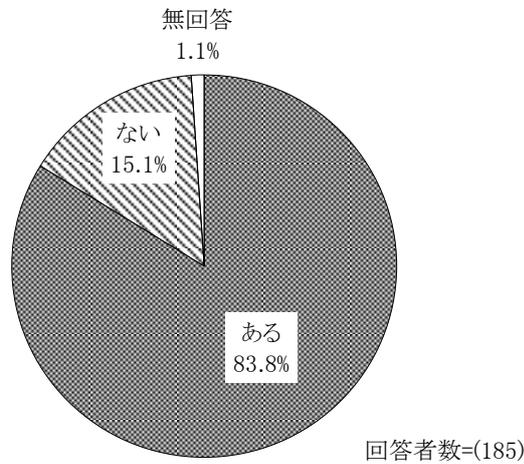
- 緑に関する活動に参加もしくは行ったことが「ない」と答えた方が3割台半ばいる。

【緑の基本計画での方針】

- 緑に関わるプラットフォームづくり
現段階で緑に関心がある方もない方も、緑に関わる機会を作ることによって緑の保全への意識が高まる可能性がある。その活動の場（プラットフォーム）づくりを行っていく。

7. 今後、緑に関することへの参加・協力意向

問6 今後、緑に関することで、参加・協力したいことはありますか（○は1つだけ）。

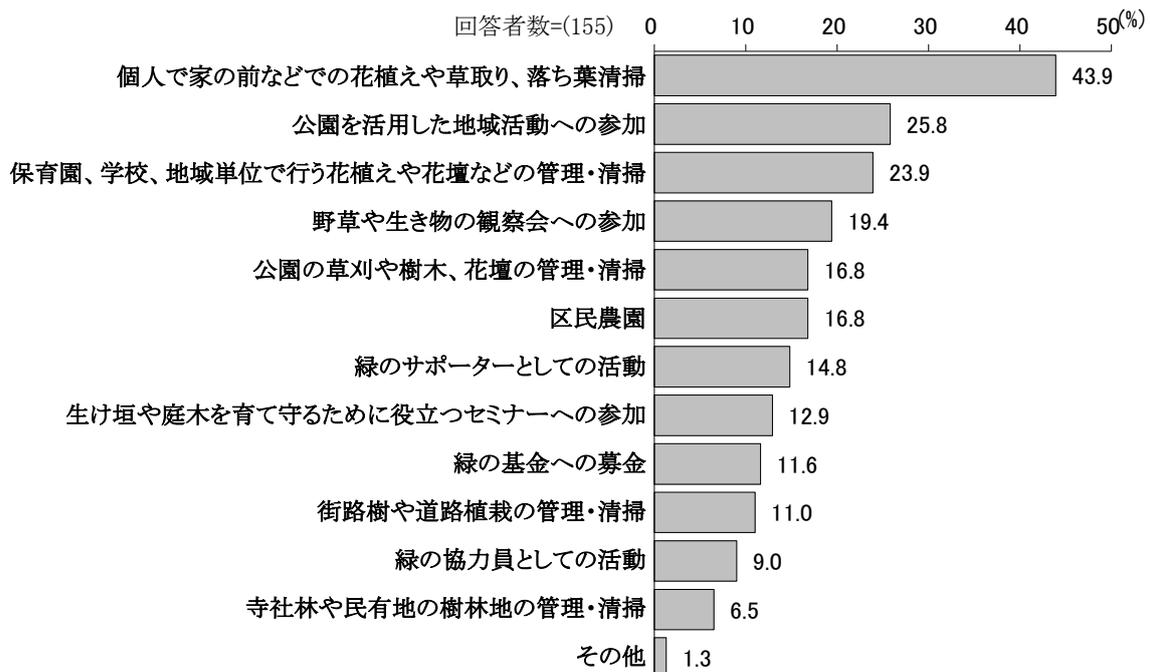


「ある」(83.8%)が8割台前半となっている。

8. 今後、緑に関することへの参加・協力したいこと

問6で「1. ある」とお答えの方に

問6-1 どのような活動に参加してみたいですか（○は3つまで）。



「個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃」(43.9%)が4割台半ばで最も高く、次いで「公園を活用した地域活動への参加」(25.8%)、「保育園、学校、地域単位で行う花植えや花壇などの管理・清掃」(23.9%)が2割台となっている。

【現状】

- 個人で行えることからという割合が高かったが、公園を活用した地域活動や保育園・学校・地域単位での活動に参加してみたいと回答した方の割合も高かった。

【課題】

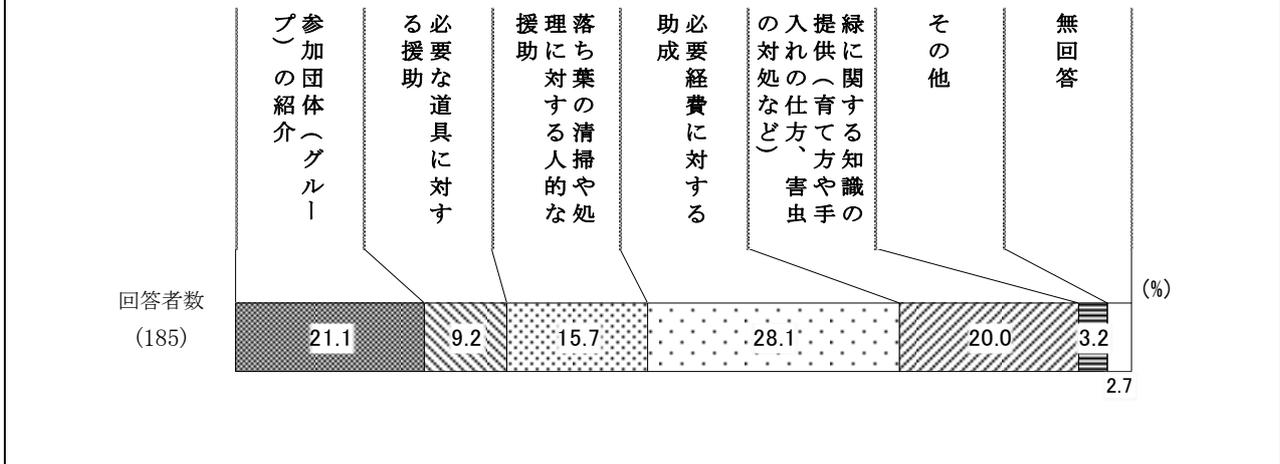
- 登録や申込みが不要で、個人で気軽に参加できることを好む方と、学校や地域単位など団体での参加を希望する方が、それぞれ一定数存在しており、今後もそれぞれに適合した緑に関する施策を推進していく必要がある。
- 現在の緑行政が抱える課題の一つとして、民有地の緑の維持管理が挙げられるが、この設問において「寺社林や民有地の樹林地の管理・清掃」に参加してみたい方は6.5%と少なかった。

【緑の基本計画での方針】

- 約8割の方が、緑に関する活動への参加意欲を示している。
緑の活動に参加しやすくするための間口を広げる。
 - (1) 個人の活動を連携させる方策を検討する。
 - (2) 緑に興味や参加意欲が無い方を取り込むために、関係所管、民間事業者を含めたプラットフォームをつくり、参加しやすい事業を展開していく。
- 課題である寺社等の民有樹林地の維持管理や保全については、維持管理に切実な悩みを抱えている管理者・所有者も多い。協働からスタートし、協創事業として民有樹林を保全していく施策を検討する。

9. 緑に関する活動への参加促進のために必要な援助

問7 前問（問6）の活動に、どのような援助（足立区以外からのものを含め）があれば、少しでも多くの方に参加していただけたと思いますか（○は1つだけ）。



「必要経費に対する助成」（28.1%）が2割台後半で最も高く、次いで「参加団体（グループ）の紹介」（21.1%）、「緑に関する知識の提供（育て方や手入れの仕方、害虫の対処など）」（20.0%）が約2割となっている。

【現状】

- 必要経費に対する助成という回答が最も多く、金銭的負担が少なければ参加する人が増えると考えている人の割合が高かった。
- 参加団体の紹介や緑に関する知識などの提供があれば、参加する人が増えると考えている人が合計4割以上であった。

【課題】

- 区主催の緑に関する活動や知識について、情報を得られる機会が不足している。
- 区が関与していない緑に関する活動については、区側ですべて把握していない。

【緑の基本計画での方針】

- 緑に関する情報発信
現在、みどりと公園推進室で実施している緑に関する活動は、材料費の一部負担はあるものの、基本的には無料で参加できる。（公園等の自主管理清掃・花壇管理、剪定講習会、園芸講座（みどりのがっこう、みどりのレッスン）等）
剪定講習会や園芸講座については足立区広報やホームページ上でご案内し、緑のサポーターには定期刊行物でお知らせをしているが、今後も効果的な情報発信

に力を入れていく。

● 緑と「協創」

今後、区民との協働・協創によって緑を保全・育成していくためには、既存の住民団体の活動について積極的に情報収集を行い、その上で区が支援できることを検討する必要がある。

10. 居住地域の身近にある緑の中で、好きな緑の場所（自由記述）

問8 お住まいの地域の身近にある緑の中で、皆様にとって好きな緑の場所を、できるだけ詳しく教えてください。

好きな緑の場所について、自由に記述（複数回答有り）してもらったところ、109人から回答を得たので、一部抜粋して掲載する。

＜公園等＞

■ 元渚江公園（保木間二丁目17番1号）（11件）

- ・ 春は桜がキレイで、夏は木かげが涼しく、秋は紅葉と季節で和めるところ。
- ・ 広いから。
- ・ 交通便よく、バス、竹ノ塚駅からも近距離、ウォーキングにもよい。
- ・ 広々していて、草の臭いを感じられるし、伸び伸びできるから。（芝生広場）
- ・ みどりが多く、植物園、つりなど、子供から大人まで楽しめる。そして散歩道は、冬はイルミネーションがすばらしく、大好評です。

■ 都立 舎人公園（11件）

- ・ 春には桜、夏にはバーベキューをしながら虫取りにジャブジャブ池、秋には紅葉、冬にも雪景色と、四季を味わうことができ、朝早くにはウォーキングをしている方々が多く、自然を満喫できる。
- ・ 緑が多いが、清潔感があるから。
- ・ 池を見ながら大きな木の下でピクニックができるのが気に入っています。野鳥もかわいらしく、見ていて和みます。広々としているので子連れで気がねしません。
- ・ ボール遊びなど、子どもがのびのびと遊べ、桜や紅葉も楽しめるので。
- ・ 池があり、鳥がたくさんいて、木々がうっそうとしている。山にいるような感じになる為。

■ 葛西用水親水水路（六木三丁目38番から中川四丁目1番まで）（6件）

- ・ 木々の並木道で、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と楽しめて、散歩するのにとてもおすすめの場所です。
- ・ 季節折々の並木がキレイですし、掃除もきちんとされていて気持ち良く歩けます。東和近辺は、鳥のふんが非常に多く不衛生さを感じる時がある。
- ・ 毎年春になると桜を見に人が集まり、人が集まる所（地域）は安心であたたかい場所だから。葉桜も素敵です。

■ 花畑公園（花畑記念庭園・桜花亭）（花畑四丁目40番1号）（6件）

- ・ 近所で身近に思っていて、いつも買い物帰りに立ち寄ったり、朝の体操に時々参加していて、いつも気分良く散歩出来る。
- ・ 不便な場所で、2度目の訪問。とても紅葉が美しく、大勢の区民に行ってもらいたいと思った。
- ・ 区民の財産だと思う。四季折々、木々の緑が美しい。私が行く時はほとんど誰もいない。残念。

それと、車椅子で廻れる範囲が限られている。老人施設が近隣に多いが、利用しづらいのでは？

- ベルモント公園（梅島一丁目33番7号、梅島二丁目17番2号）（5件）
 - ・ 花壇の花がいろいろあり楽しめる。
 - ・ 植物の種類が多く、公園らしく落ち着いた雰囲気である。

- 荒川土手（5件）
 - ・ 五色桜が見事！
 - ・ 緑がたくさんあり、子供も土手すべりなど遊べる為。

- 都立 東綾瀬公園（4件）
 - ・ 広いが、ほどよく静寂さが保たれ、又、子と共にスポーツや、遊具で遊ぶ子供の姿が散見され、活気もある。

- 東湊江庭園（郷土博物館）（大谷田五丁目20番1号）（3件）
 - ・ 四季折々の景色が見られるから。池に写った木も素敵です。鏡池ですね。

- 青和ばら公園（青井三丁目18番15号）（3件）
 - ・ （青井地域も含めて）緑というよりバラを見るのが好きで、自宅から近いせいもあって、散歩コースで好きな場所です。周囲の家々もお花を育てている方が多く、従って緑も多いようです。
 - ・ 彩りが豊かである。四季を感じられる。小さな子どもたちが集い易い。地域の人たちが触れ合う場として成立している。

- 都市農業公園（鹿浜二丁目44番1号）（3件）
 - ・ （周辺の街路樹の八重桜も含めて）桜のトンネルをくぐっているよう。一般の桜と時期がずれていて良い。
 - ・ 緑が多く、自然に関するイベントも多いから。

- 見沼代親水公園（舎人四丁目5番から古千谷本町四丁目8番まで）（3件）
 - ・ 舎人から古千谷までの道のりに、たくさんの緑と出会えるから。
 - ・ （舎人緑道公園まで含めて）季節が、緑を通してはっきりと伝わってくる情景がある。樹木が季節の変化を優しく伝えてくれる。

- 中央公園（足立区役所）（中央本町一丁目17番4号）（3件）
 - ・ すごく犬もイキイキしているし、ベンチに座る人も本を読んだりリラックスできる。

- 佐野いこいの森（佐野一丁目31）（2件）
 - ・ 手つかずの屋敷林。真夏でも涼しく、空気がきれい。
 - ・ 普段感じる事のない自然の空気を味わえます。

- 足立堀之内公園（堀之内二丁目1番1号）（2件）
 - ・ ハスの時期は本当にきれい。近くに住んでいて全然知らず、もっと宣伝すれば良いのに…と思った。知らないのはもったいないです。
- しょうぶ沼公園（谷中二丁目4番1号）（2件）
 - ・ 身近にある、緑が豊かな場所だから。
- 西綾瀬三丁目児童遊園（西綾瀬三丁目29番1号）（2件）
 - ・ 花がたくさんで、見ていて嬉しい。
- 五反野コミュニティ公園（西綾瀬二丁目1番18号）（2件）
 - ・ 地域の人たちが触れ合う場として成立している。
- あみだ橋公園（西新井本町三丁目8番8号）（2件）
 - ・ 大木が多く緑がいっぱい。梅の花が咲く。
- 北宮城町公園（扇二丁目37番1号・27番27号）（1件）
 - ・ いちょうの木は、紅葉時期はとても葉がキレイ。葉が散った後のおそうじ大変ですが…。
- 西新井さかえ公園（西新井栄町一丁目19番1号）（1件）
 - ・ 管理は常に大変そうだが、対処を逐次しているようで、季節の花々が咲き、通過するのもなかなか楽しい。手入れされた緑は、精神衛生上にも環境にも美しくよい。（美しい街には人が集まります！）

<寺社等>

- 千住神社（千住宮元町24-1）（4件）
 - ・ あじさいや樹木が多く、あじさいの季節にはきれいに咲いている。緑が多く気持ちが休まる。
 - ・ 樹齢の長い木が多く、落ち着く。いちょうがきれい。
 - ・ 大木がとても立派で、何十年（何百年？）もそこで参拝客を見守っている様な、癒されつつ清々しい気持ちになります。
- 大鷲神社（花畑七丁目16-8）（2件）
 - ・ 大樹が多くあり、パワースポットのようなところで好きです。
- 竹塚神社（竹の塚6-12-1）（1件）
 - ・ 保存樹木であるイチョウ、ヒマラヤ杉、ケヤキ、すだじい、などの太い樹を見ると、どことなく昔から竹の塚もあっただろうと思うし安心感がある。

■ 中曽根神社（本木2-5-7）（1件）

- ・ 夏は蚊が多いけれど、日陰にもなっている。

<その他>

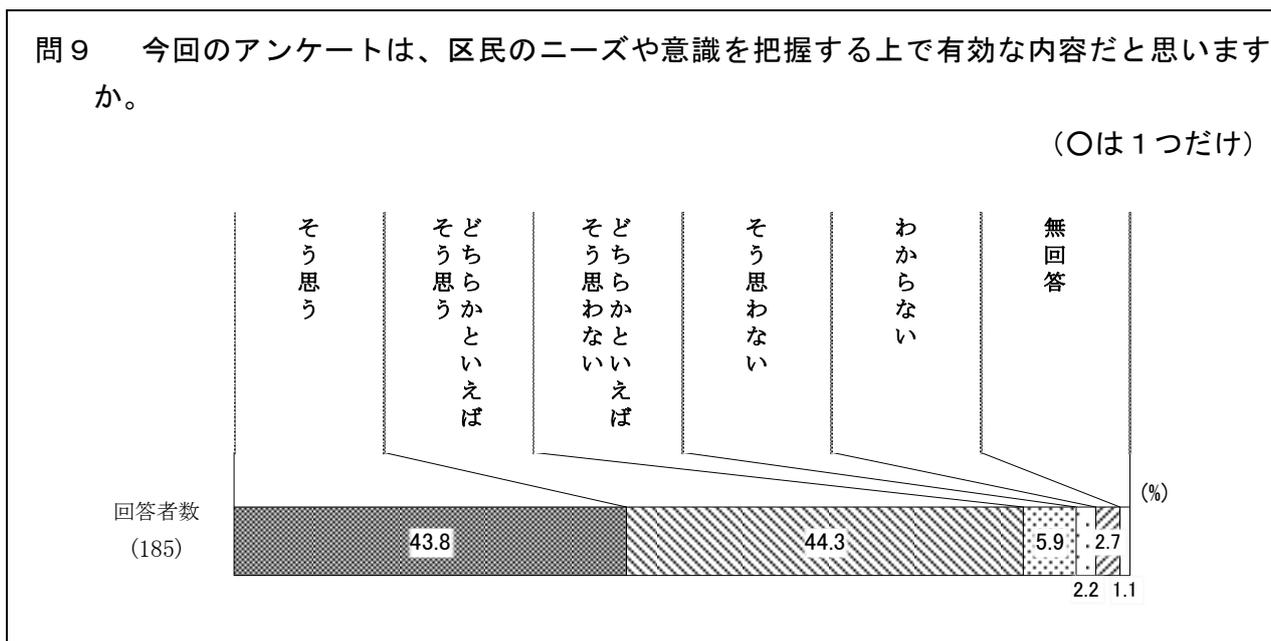
■ 西新井駅西口の「さくら参道」（2件）

- ・ 春にさくらのお花が見事に咲き、とてもきれいでステキです。

■ 新田学園の校舎周辺（2件）

- ・ お花が植えられていて、いつも楽しませてもらっています。子どもの中にも緑のある学校という印象が強いようです。
- ・ 伊興小学校の人工芝：新しくキレイで、あそこでサッカーやりたい。
- ・ 千住元町の元宿神社の前の桜並木：春になると両サイドの桜木が咲き、桜のトンネルのようで圧感。

■ アンケートの有効度



「そう思う」(43.8%)と「どちらかといえばそう思う」(44.3%)を合わせた《思う》(88.1%)という評価は8割台後半となっている。

■使用した調査票

モニター番号 番

(必ず記入してください)

平成29年度 第2回 区政モニターアンケート

《 緑の実態調査 》

緑は、空気の浄化やヒートアイランド現象の緩和、災害時の延焼防止などの役割を担うとともに、私たちの生活にうるおいとやすらぎを与えるなど様々な効果をもたらしています。

今回のアンケートでは、「区民の皆様が区内の緑についてどのように感じているか」「今後の足立区の緑を増やし守っていくには、どのような活動が必要か」などについて区民の皆様のご意見をおうかがいしたいと思います。

皆様からいただきましたご意見は、平成31年度に策定する予定の「足立区緑の基本計画」に反映し、今後の足立区の緑の将来像を示していきたいと考えております。

(本アンケートにおいて、緑とは「樹木や草地、花、芝、農地など全て」を含んで定義しています。)

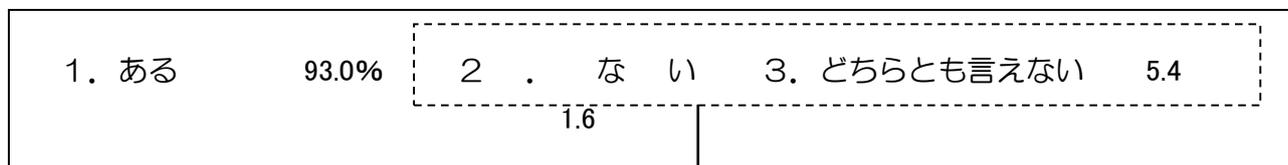
ぜひ、アンケートにご協力をお願いいたします。

担当所属：みどり推進課

問1 足立区内の屋敷林や農地などのまとまった緑は年々減少しています。今後も都市部の緑の保全は重要な課題と捉えておりますが、緑に興味や関心がありますか（〇は1つだけ）。

※緑を眺めること、緑のある場所に行くなど、どんな視点からでも構いません。

回答者数=(185)



(問1で「2. ない」、または「3. どちらとも言えない」とお答えの方に)

問1-1 その理由をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

回答者数=(13)

1. 緑の恩恵がわからない	15.4%
2. 緑が必要ないと感じている	7.7
3. 緑を育てることや、楽しむ余裕がない	38.5
4. 落ち葉や害虫などが不快である	30.8
5. 緑を育てることなどは、興味や関心がある人に任せたい	30.8
6. その他 ()	30.8

問2 近年の足立区内の緑の現状をどのように感じていますか。また、「増えている」「減っている」を選んだ場合は、その理由や具体的な名称、場所をお答えください。

(アからカまで○はそれぞれ1つずつ) 回答者数=(185)

(記入例)

	1. 増えている	2. 変わらない	③. 減っている
住宅街の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所 〇〇一丁目のマンション開発で樹木が伐採されたから			

(↓ご回答はこちらへ)

ア. 住宅街の緑	1. 増えている	11.4%	2. 減っている	30.8
	2. 変わらない	55.1	無回答	2.7
住宅街の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				
イ. 公共施設の緑	1. 増えている	8.6	2. 減っている	4.3
	2. 変わらない	83.8	無回答	3.2
公共施設の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				
ウ. 公園の緑	1. 増えている	11.9	2. 減っている	11.4
	2. 変わらない	74.1	無回答	2.7
公園の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				
エ. 寺社の緑	1. 増えている	1.1	2. 減っている	3.8
	2. 変わらない	90.8	無回答	4.3
寺社の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				
オ. 道路の緑	1. 増えている	8.6	2. 減っている	19.5
	2. 変わらない	69.2	無回答	2.7
道路の緑で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				
カ. 農地	1. 増えている	1.6	2. 減っている	33.5
	2. 変わらない	61.6	無回答	3.2
農地で「1. 増えている」、または「3. 減っている」と感じている理由、名称、場所				

問3 これからも足立区の緑をできるだけ増やしていきたいと考えておりますが、まだまだ足りません。今後、足立区の緑を増やしていくために、どのような場所に樹木を植え、育て、守っていけばよいと思いますか（〇は2つまで）。 回答者数=(185)
また、具体的な名称や場所もお答えください。

1. 住宅街の緑	35.1%	4. 寺社の緑	3.8	7. 屋上緑化	16.8
2. 公共施設の緑	34.6	5. 道路の緑	36.8	8. 壁面緑化	7.0
3. 公園の緑	40.5	6. 農地	1.6	9. その他	7.0
				無回答	1.1

〈 具体的な名称や場所 〉

問4 今後、緑を育て守っていくために最も必要だと感じることは何ですか（〇は1つだけ）。 回答者数=(185)

1. 周囲の理解や協力（沿道、隣近所の方々の理解や協力）	34.1%
2. 管理していくための援助（生け垣や庭木の剪定、落ち葉の処理など）	42.7
3. 植栽するための援助（生け垣や庭木の植栽）	6.5
4. 税制上の援助（寺社林や民有地の樹林地を適正に維持するための税制上の援助）	5.9
5. 造園会社の紹介（植栽や手入れなどが行える複数の区内業者の紹介）	2.2
6. 区の各種支援制度の紹介（区で行っている助成などのさらなる周知）	6.5
7. その他（	1.1
無回答	1.1

問5 これまでに緑にかかわる活動に参加、もしくは行ったことがありますか。（〇はあてはまるものすべて） 回答者数=(185)

1. 個人で家の前などでの花植えや草取り、落ち葉清掃	44.9%
2. 街路樹や道路植栽の管理・清掃	5.4
3. 公園の草刈や樹木、花壇の管理・清掃	8.6
4. 保育園、学校、地域単位で行う花植えや花壇などの管理・清掃	16.8
5. 公園を活用した地域活動への参加	7.6
6. 寺社林や民有地の樹林地の管理・清掃	1.6
7. 生け垣や庭木を育て守るために役立つセミナーへの参加	4.3
8. 野草や生き物の観察会への参加	11.4
9. 緑の協力員（※1）	2.7
10. 緑のサポーター（※2）	3.2
11. 緑の基金への募金（※3）	3.8
12. 区民農園	6.5
13. その他（	3.8
14. ない	36.8
無回答	1.1

問7 前問（問6）の活動に、どのような援助（足立区以外からのものを含め）があれば、少しでも多くの方に参加していただけたと思いますか（〇は1つだけ）。 回答者数=(185)

1. 参加団体（グループ）の紹介	21.1%
2. 必要な道具に対する援助	9.2
3. 落ち葉の清掃や処理に対する人的な援助	15.7
4. 必要経費に対する助成	28.1
5. 緑に関する知識の提供（育て方や手入れの仕方、害虫の対処など）	20.0
6. その他（ ）	3.2
無回答	2.7

問8 お住まいの地域の身近にある緑の中で、皆様にとって好きな緑の場所を、できるだけ詳しく教えてください。

- 【例】
- ・庭園（隣地の〇〇丁目〇番地のお庭）
 - ・公園（〇〇公園のケヤキなど）
 - ・街路樹（〇〇丁目〇番沿線のサルスベリ）
 - ・生け垣、壁面緑化
 - ・寺社林（〇〇神社の樹木・樹林）
 - ・民有地の屋敷林

〈 名称や場所 〉

〈 好きな理由 〉

問9 今回のアンケートは、区民のニーズや意識を把握する上で有効な内容だと思いますか。

（〇は1つだけ） 回答者数=(185)

1. そう思う	43.8%
2. どちらかといえばそう思う	44.3
3. どちらかといえばそう思わない	5.9
4. そう思わない（理由： ）	2.2
5. わからない	2.7
無回答	1.1

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

